

5月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R5. 4. 28 文京区立本駒込幼稚園



『心が動くと体が動く 体が動くと心が動く』

～遊びを通して心と体を動かす～

園長 藤田 智子

入園・進級から3週間が経ちました。年少組の子どもたちは、保護者の方から離れて幼稚園で過ごすことに少しずつ慣れ、担任の先生に身支度を手伝ってもらったり一緒に遊んだりしながら学級での時間を楽しむことができるようになってきました。年中組の子どもたちは、ひとつ大きいクラスになった喜び表しながら、年中組になって使えるようになった場や物を使い新しく学級の仲間に加わった友達を誘って遊んだり、園庭の自然物に触れ園庭の春探しをして遊んだりすることを楽しんでます。それぞれの子どもたちが自分のペースで新しい学級での生活に慣れてきていることを感じます。

年長組の子どもたちは、4月18日に進級後初めてとなる遠足に行きました。年長組だけで行く遠足、“年長組だからできること”への期待を膨らませながら目的地の六義園に向かいました。たくさんのお花が咲いている新緑の美しい庭園の中を散策し、清々しい空気、鳥の鳴き声、木の葉の揺れる音など、五感を働かせながら楽しむ遠足となりました。わくわくする気持ちで、心と体をたくさん動かした遠足でした。

『心が動くと体が動く』と言われるように、子どもたちの体の動きは、遊びや活動に向かう気持ちのバロメーターでもあります。新しい生活の場が安心して過ごせる場であることが分かると、子どもたちは、自分から動き始めます。新しい環境への期待と緊張が見られた4月から、安心感が加わって活発に動き始める姿がたくさん出てくるようになる5月、心と体を動かして自分から動き始める姿がいろいろな場面で見られるようになることと思います。「やってみよう!」、「楽しそう!」と、子どもたちの心と体が動く活動をたくさん取り入れていきたいと思えます。

今年度は、体育健康教育推進園の研究の2年次になります。この研究では、総合的な子どもの基礎体力向上策として、幼児期から運動を楽しみながら、自ら体力を高めていく習慣を身に付けていくことを目指しています。体を動かすことが楽しいという子どもたちを育てていくために、今年度も楽しく体を動かす遊びの経験を大切にしていきます。楽しく体を動かす遊びは、基礎的な体力や運動能力を発達させていくだけでなく、友達との関わりを通してコミュニケーション能力、やる気や集中力、社会性や認知的能力などを育む機会を与えてくれます。子どもたちが思わず体を動かしたくなるような環境づくりと多様な動きが経験できる活動の充実（様々な遊びを取り入れる・楽しく体を動かす時間を確保する・発達の特性に合った遊びを提示する）を目指して取り組んでいきます。また、園生活の中だけでなく、生活全般に渡り日頃から体を動かす習慣を付けていくことが大切であることから、このような園での取り組みに加え、今年度は、親子で一緒に体を動かす楽しさを味わう様々な機会を設け、家庭との連携を図りながら進めていくことも計画しています。是非、子どもたちと一緒に、『心が動くと体が動く 体が動くと心が動く』体験をしてみてください。

5月も張り切って本駒込幼稚園の教育活動を進めてまいります。ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。



年長組が作ったこのほりの下で
元気いっぱい体を動かす子どもたち